

2026.10.28

第2回意見交換会（2026.8.29 開催）の概要

第 1 回（2026 年 2 月 13 日開催済）の「ばら苑の魅力とアイデアを共有する」に続いて、今回は『ばら苑の楽しみ方のアイデアをみんなで考えよう』をテーマにワークショップを行いました。

ワーク1のまとめ

「これからの「ばら苑」に期待する楽しみ方のアイデアをみんなで考えよう」をテーマとして意見を出し合うワークを行いました。

出された全ての意見を分類・整理し、内容ごとにまとめました。各文末の（赤）（青）（緑）は、意見が出されたテーブルの色分けをあらわしています。

■ **ばら苑のあり方**

○ **ばら苑のリニューアルとは？**

- かつて東洋一といわれた小田急の時代も含めての歴史を伝えられるようにしたい。（緑）
- 地域に住んでいる人が自慢できるばら苑にしてほしい。（緑）
- 将来的に世界バラ会議の地域大会かヘリテージローズカンファレンスが開催できるよう、他のバラ園と違う価値をつくれるとよい。（緑）
- 一日中過ごせるばら苑であってほしい。（赤）
- 家族みんなで楽しめる花園であってほしい。（赤）
- 新しい気候に対応する最新のばら苑としてお手本となるようにしてほしい。（緑）
- フラワーパーク、バラ公園、バラ庭園、どのイメージが近いのか？（赤）
- ばら苑のリニューアルとは？ ばら苑の博物館をつくるのか。バラを通じて癒しの公園をつくるのか？（赤）

○ **周辺施設との共存**

- 新たなミュージアム、民間商業施設など、隣接する施設との共存のため、それぞれの計画の情報を共有した上で、ばら苑のあり方を考えるとよい。特に、駐車場と人の流れ、動線にかかわる情報を共有すべき。（青）
- 新たなミュージアムとばら苑のコラボレーションをどうするのかをイメージすることが難しい。（緑）
- 昔の向ヶ丘遊園（家族とのレクリエーション）と現在のばら苑（バラ好きが集う、バラなどの咲く見本園）の対比や、新たなミュージアムとばら苑の対比を考えたい。（赤）
- 生田緑地全体の利用を増やすためのばら苑であってほしい。（赤）
- ばら苑の生田緑地らしさを考える際、新たなミュージアム、青少年科学館に関連する要素も考えてほしい。（緑）

■ **アクセス・バリアフリーの改善**

- これからのばら苑にはバリアフリーが必要。園路の整備を充実するとよい。（青）
- 秘密の花園でありながら、幼児から高齢者まで、だれもが行きやすいアクセスを確保してほしい。（緑）
- 小田急再開発側の店舗などからばら苑へのアクセスはよい方がいい。若い人たちがばら苑へ寄り道できるように。（緑）

- アクセスを改善してほしい。（赤）
- とにかくアクセスがよくないといけない。（赤）
- ばら苑までの通路をバラや草花で充実するとよい。（ばら苑アクセスロード・新開・五ヶ村堀）（青）
- 階段やスロープでも花が楽しめるとよい。（赤）
- 花の階段は向ヶ丘遊園の思い出とつながる。（赤）

■ **ばら苑にほしいもの**

○ **ばら苑のイメージの継承**

- 天空のばら苑、秘密の花園のイメージを残してほしい。そのためには、ばら苑の背景に住宅など人工的な建造物が見えないことが大事。（緑）
- 住宅など人工物が見えない景色が良い。（緑）
- 目に見える景色とは、生田緑地の木々を借景にした、芝生とバラ、宿根草を主体とした庭園。（緑）
- リニューアル後は、新しさと歴史がうまく調和したばら苑であってほしい。（緑）
- 色を統一して多種類の花を植えるなど色彩的なレイアウトなども考えて全体的なバランスを整えてほしい。（青）

○ **修景のアイデア**

- 来苑後、家に帰っても印象が残るような景色、シンボルがほしい。（緑）
- 新たな文化の価値をつくるため、ばら苑内に野生種をオーガニックに育成する実証地区をつくるとよい。（緑）
- 木立性のモダンローズばかりではなく、モダンローズの祖となった野生種主体のコーナーを設置してほしい。（緑）
- 殿堂入りのバラを植栽するコーナーがあるといい。（緑）
- ミニチュアローズの盆栽を見せるコーナーがあるといい。（緑）
- 香りのコーナーではラベンダーなどとバラの組み合わせもあるといい。（赤）
- 香りのよいバラがたくさんある。（赤）
- バラと相性のよい草花の見本園があるといい。（緑）
- バラを生かすため色彩があまりない草（ススキのような）や低いコニファーなどの針葉樹を植えるとよいのではないか。（青）
- 花木も多くほしい。（赤）
- つるバラのあるばら苑であってほしい。（緑）
- 人を惹き付けるほどの大きな景色を、ランブラーをつかってつくるといい。（赤）
- つるバラの風景。（赤）
- みんなを魅了させる大きな景色をバラとパーゴラ、アーチなどでつくるといい。（赤）
- 今のパーゴラを残してほしい。（緑）
- ばら苑の現在のパーゴラは使いづらいので、三分の一か半分くらい、ローズハウス側の方を残すとよい。（青）
- アーチ、パーゴラ、支柱などを多く入れて、立体的な空間にしてほしい。（青）
- 広い芝生があるといい。（赤）
- 花壇の柵はない方がよい。（青）
- 小さな子どもも走り回れる芝生があるといい。（赤）
- 木漏れ日、日光と日陰のデザインも積極的に取り入れてほしい。（緑）
- バラの小径。（赤）
- 平坦な小径。（赤）

- 水面もほしい。ハス池、モネの池。（赤）
- 水面のある風景。（赤）

○ **施設について**

- バラのミュージアムがあるといい。（緑）
- ミュージアムと連動してバラの歴史を学べる場を設ける。（赤）
- バラの苗を販売する売店を常設してほしい。（青）
- 展示プレートの表示に工夫をしてほしい。表現の仕方に知恵を絞ってほしい。（緑）
- 香りや花色の分類表示はわかりやすいものがいい。（緑）
- 子どもたちの遊び場に（遊具）があるといい。（緑）

■ **バラ品種の継承**

○ **品種の保存と管理**

- 今あるバラの品種はボランティアの先輩が調べ残してきたものなので基本的にすべて保存してほしい。その上で新しいバラを取り入れてほしい。（青）
- 既存のバラの品種はすべて残すべき。（青）
- 確かで正しい品種管理が行えるとよい。既存のばら苑に植栽されているバラ株は、実生由来の株を排除するなど、品種の管理を徹底してほしい。（緑）
- 他のガーデンと差別化できるとよい。（青）

○ **既存のバラ株の行方**

- ばら苑のなかに植えられないバラの株は捨てない。まとめて、他にエリアを設け、すべて活用するとよい。（青）
- 余ったバラ株は市民に引き取ってもらい市民全体でばら苑を盛り上げるとよい。（青）
- 再整備に伴い既存のバラ株を廃棄する場合、その行方を公開してほしい。（青）
- 廃棄するバラ株を堆肥にして再利用するとよい。（青）
- どれだけのバラ株が不要になるのかを公開して市民と考える場をつくってほしい。（青）
- バラの根頭癌腫病について専門家の話を聞ける場をつくってほしい。（青）
- 既存のバラ株をどうするのかにかかわるスケジュールを教えてほしい。（青）

■ **ばら苑の運営のあり方**

○ **通年開苑について**

- 一年中開苑することになる。（赤）
- 通年開苑であれば、夏の暑さに負けず、冬も開花するバラを見せる植栽や植物の管理が必要。（緑）
- 四季楽しめる花づくりが必要。（赤）
- バラの咲かない冬はどうするのか。（赤）
- 終日開苑ではなく時間を決めて閉園してほしい。終日開苑にするとゴミが増えたり、事故が生じたりするかもしれない。（緑）

○ **有料化について**

- 入苑料の有無によって管理方法に違いが出ると思う。入苑料にかかわる議論、考察の過程を公開してほしい。（青）
- 有料に値する魅力がないといけない。（赤）
- 維持管理の財源を確保するための有料化と捉えている。（赤）
- 有料にして一般開放といえるのか疑問を感じる。（赤）

○ **利用について**

- ペットの同伴も認めるとよい。（青）

- 持ち込んだお弁当などを芝生の上で飲食できるばら苑であってほしい。（青）
- ばら苑に食事をする場所はつくらないようにしてほしい（ベンチも飲食禁止）。（緑）

○ **イベントの開催**

- 新たなミュージアムとばら苑の相乗効果を図る上で、向ヶ丘遊園時代の花時計、フラワーショー、花の写生会などの歴史を、様々なイベント、活性化の仕掛けに活用するとよい。（赤）
- ライトアップを行うなどして夜も楽しめるとよい。（青）
- 夜間開苑で夜のバラの姿を楽しみたい。（緑）
- ばら苑で夜間に天体観察とバラを楽しみたい。（緑）
- 写生会など、地域密着イベントができるといい。（赤）
- 小学生の写生会ができるといい。（赤）
- 週末のイベントとして、バラの育て方の講習会やバラの専門家の講演会を開催してほしい。（青）
- これまでは、苑内で剪定したバラでフラワーアレンジをつくるなど、バラを活用した楽しみを広げようとしてもできなかった。これからはバラを活用して楽しむ機会をつくってほしい。（青）
- イベントが多くなると管理の手がまわらなくなるのではと心配する。（緑）

○ **ボランティア活動**

- 既存のボランティアさんの方向性を尊重しつつ、学生さんたちの学びの場として、生物の多様性やSDGs に根ざした教育の場をつくれるとよい。（緑）
- ボランティアさんは学生がよいかもしれない。（緑）
- ボランティアが主体で管理できるといい。（赤）
- ばら苑の有料化に伴って、ボランティアがかかわれる内容や区域はどうなるのかが心配。（青）

■ **周囲の自然との共存について**

- ナラ枯れはくり返し発生することがわかってきた。雑木林を 20 年毎に皆伐更新すればナラ枯れを予防できる。（緑）
- 剪定枝など生田緑地内の森から得られる資源を堆肥などに活用してほしい。（青）
- 生物多様性、花やミツバチの生態系に影響するような薬剤の使用はやめる。（緑）
- 生田緑地憲章に係る課題もあるが、生田緑地と調和のとれたばら苑であるべき。（青）
- 向ヶ丘遊園ばら苑であったことを踏まえ、生田緑地憲章が呪縛にならないようにしてほしい。（青）
- 生田緑地内に自生する植物を大切にするための生田緑地憲章が、ばら苑の活用、楽しみを制限するものにならないようにしたい。（青）
- 生田緑地憲章についての整理をきちんと行ってほしい。（青）

■ **情報共有の必要性**

- メーリングリストなどをつくって、ばら苑や新たなミュージアムにかかわる情報が川崎市のホームページに公開されたら、お知らせがくるようにしてほしい。（青）
- ばら苑の再整備の進め方や計画がどこまで進んでいるのかを市民に説明する機会、質問できる場をつくってほしい。（青）
- ばら苑の再整備の進め方については、工区を分割するなどにより、段階的に整備を進める方法もあると思う。（青）
- 小田急の再開発に伴うアクセスの計画を公開してほしい。（青）
- 駐車場と人の流れなどの導線についての情報共有をしてほしい。（青）
- 整備費にも市民は関心をもっているため関連する情報を公開してほしい。（青）
- 閉苑したばら苑の情報を知りたい。（青）

ワーク２のまとめ

「ばら苑の景色をつくってみよう」をテーマとして模型づくりのワークを行いました。

■ **青テーブルの成果**

○ **テーマ：バラを主役にしたコーナー**

アーチやトレリスなどを使って立体的な見せ方を楽しめます。





○　**テーマ：一年中楽しめる全部入りのコーナー**

バラと多年草などを混植した修景を楽しめます。





○ **テーマ：芝生でくつろぐ**

芝生の上で寝転がったり、ピクニックをしたり、芝生を楽しむイメージを表現しました。





○　**テーマ：水路とともに**

ばら苑にあった水景施設を復活し、水の動きや音とともにバラを楽しめます。





■ **赤テーブルの成果**

○ **テーマ：つるバラの風景**

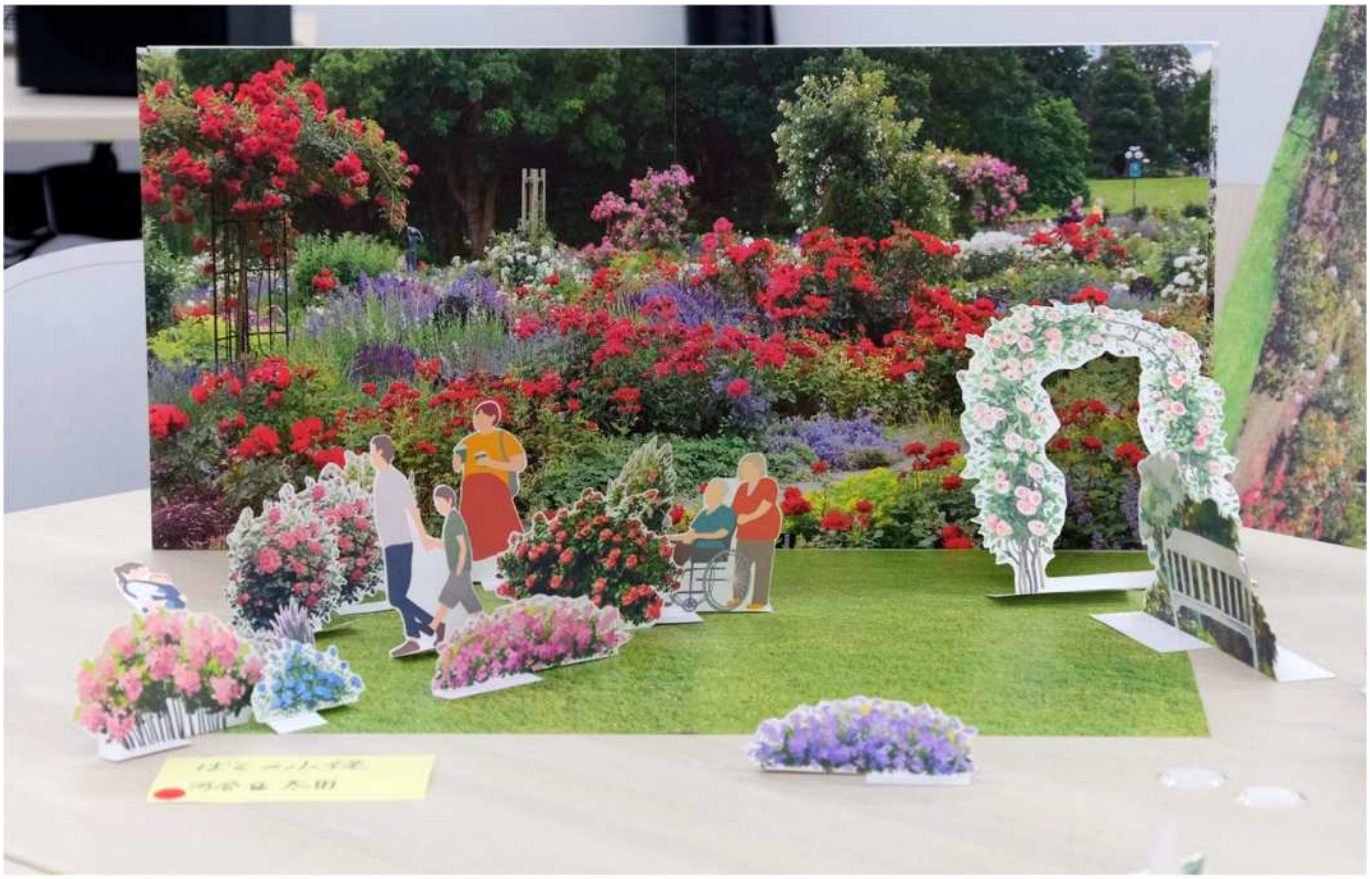
つるバラを活かした立体的な修景と芝生がよく合うことを模型で実証しました。





○　**テーマ：バラの小径**

小径をたどりながらバラとその香り、変化のある景色を楽しめます。





○　**テーマ：広い芝生**

子どもといっしょに遊ぶ広い芝生の大切さを表現しました。





○　**テーマ：香りを楽しむコーナー**

ラベンダーなど香りのよい植物を加え、バラの香りをより楽しめる修景をイメージしました。





○ **テーマ：水面のある風景**

水面にバラが映る景色がほしいけれど、水景施設は管理がたいへんなので、小さな池ならいいのではと話し合い、模型をつくってみました。

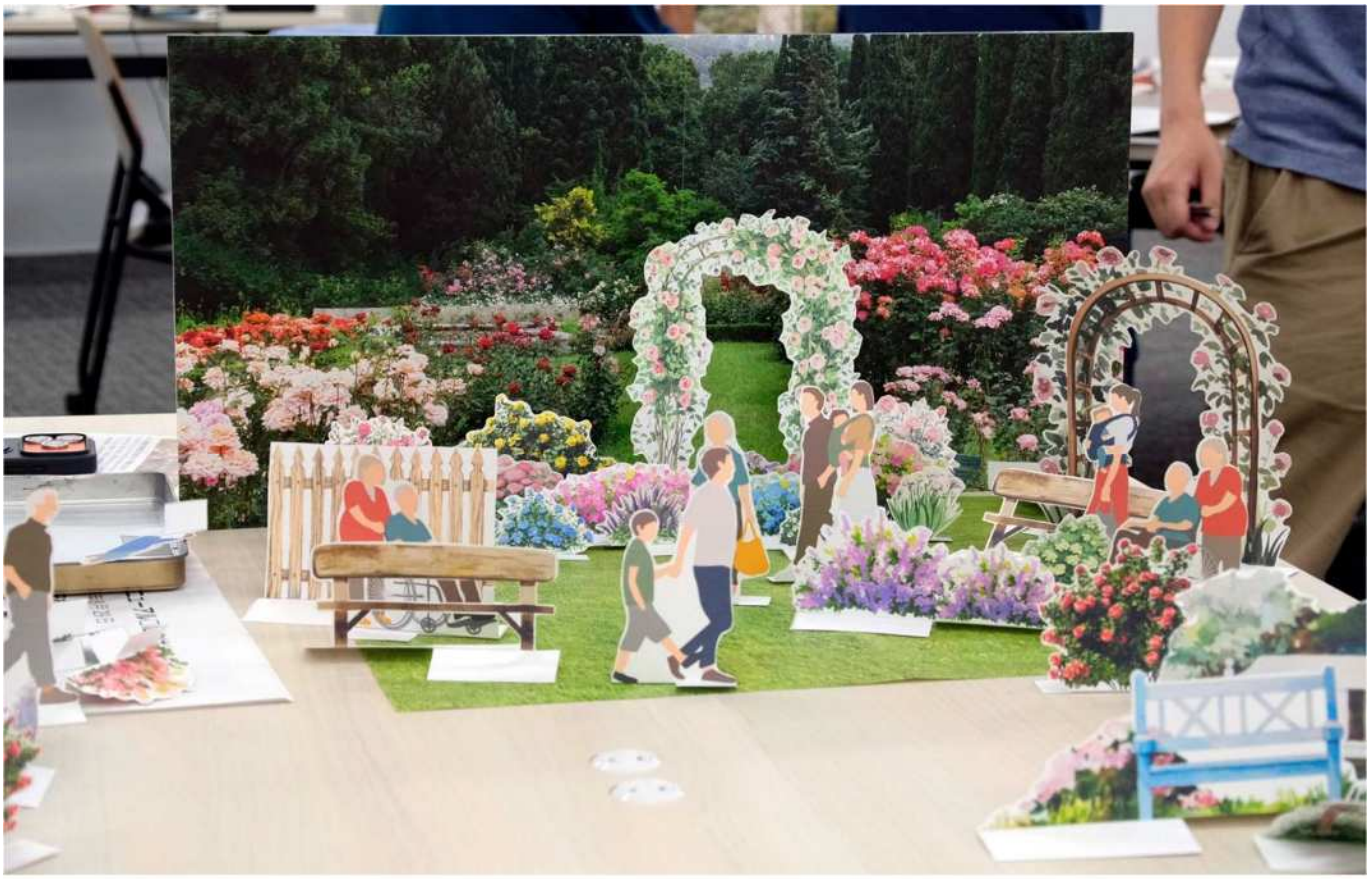


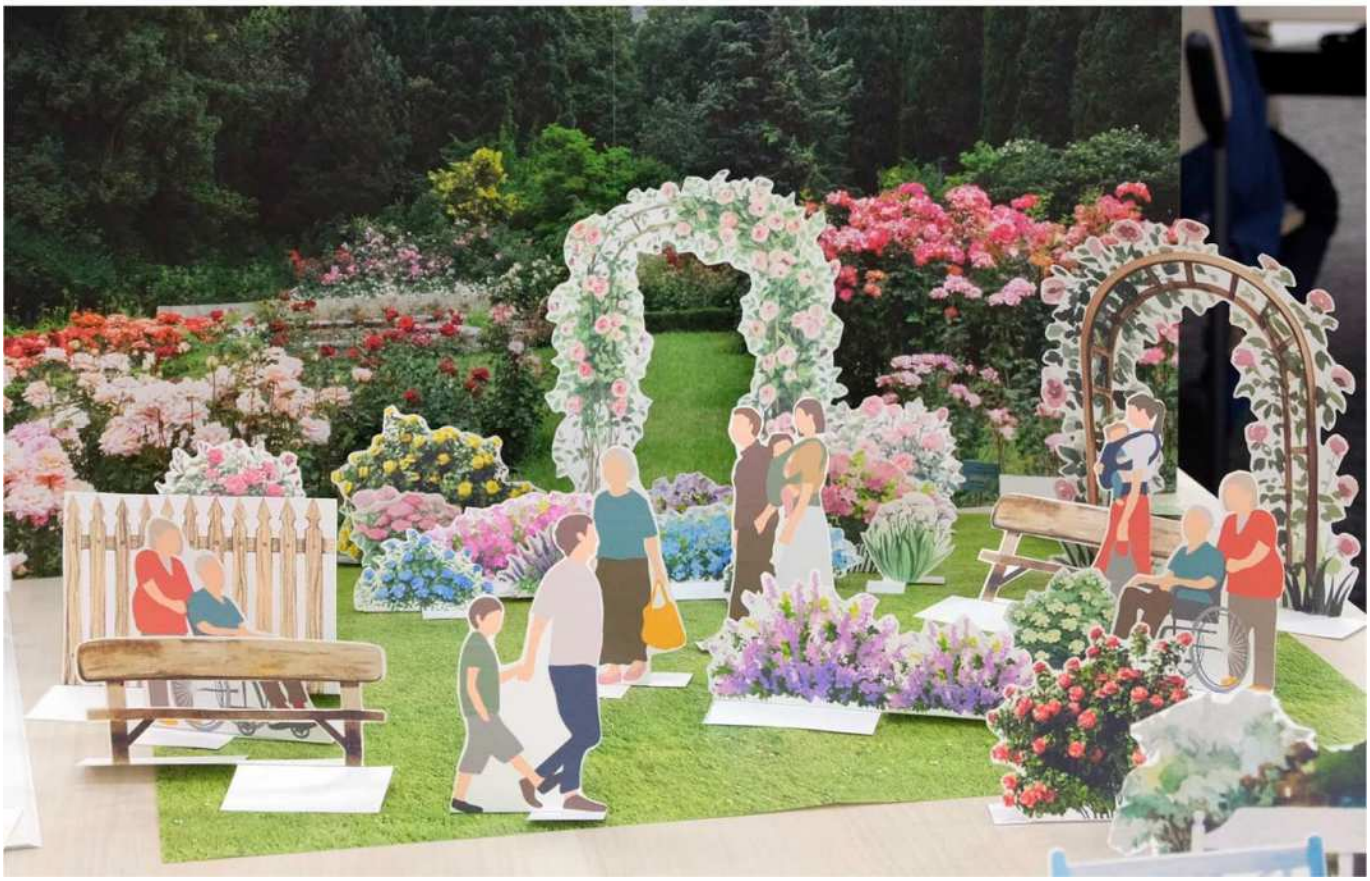


■ **緑テーブルの成果**

○ **テーマ：奥行きと遠近感のある修景**

芝生とバラの配植にアーチやトレリスを加え、奥行きと遠近感のある修景を表現しました。





○ **テーマ：つるバラがある立体的な修景**

つるバラがたくさんある生田緑地ばら苑の特徴を継承したいので、アーチやトレリスを多用した立体的な修景を表現しました。





○ **テーマ：噴水と水路のある修景**

往時のばら苑の歴史を感じられるよう、かつての池と噴水を復活させました。バラの配植は花色が同じ品種を集めています。





○ **テーマ：パーゴラのある立体的な修景**

既存の大パーゴラを残してほしいという願いをこめて、パーゴラを主体とした立体的な修景を表現しました。





ワークショップの感想（おつかれさまアンケート）

参加者のみなさまから以下の感想文をいただきました。ありがとうございました。

- ワークショップは楽しかったです。また開催をお願いします。
- 市の方との意見交換できる機会をこれからもお願いします。

- 赤グループ、とても活発に意見が出て、勉強になりました。
  ・地元の町会で生田緑地を愛する方
  ・バラ好きで長年ボランティア活動をばら苑で行ってきた方
- 双方の意見が出て、論点が整理されて、参考になる意見がたくさん出たと思います。
- ファシリテーターの方も、話の方向性、論点を示して下さり、とても良い意見交換会が出来たと思います。

- 意見を出す部分、前回書かれていることで書きつくされているようでしたが、話し合いを続けるうち、少し前進できたようにも思いました。
- 切り抜き、すごく、かわいらしかったです。イメージをふくらませることができました。ありがとうございました。
- こんな機会を設けて頂き、自分の考えも整理できたように思います。

- ポストイット出しは前回で終了と思って、今回は出しませんでした。
- 「風景作り」は、ビジュアルでわかり易かったです。

- ばら苑の現状「咲いている」程度でも、時々お知らせいただきたいです。
- １回目より、なめらかだったかと思います。
- もっとたくさんの方がこられると良いですね。
- ミュージアムも進んでいないのでしょうか。
- 様子を、ドローンとか…　たまには流して下さい。
- 開苑していないことも、ミュージアム建設のことも、知りたい市民がたくさんいます。

- ワークショップの意見等のまとめが知りたい。川崎市でのこれからの方針がまったく見えてこない事が不安です。
- 緑地、ミュージアム、ばら苑なのか公園なのか、雪の中の状態がいつまで続くのでしょうか。
- 次回のワークショップで少しは形のあるものにして下さい。

- 生田緑地は、ばら苑も高低差、地形が重要なファクターなので、現況の地形図を立体化した模型、ジオラマを作ってほしいです。そうすればもっとイメージがふくらむのでは？　３Ｄもだいぶ安価になったのではないでしょうか。

- 生田ばら苑のボランティア活動（除草、剪定、施肥など）すごくバラにかかわる事ができ、さらに専門講座もあり、すばらしいものでした。
- それは、川崎市の生田ばら苑管理に対する対応や、ボランティアへの管理体制がすばらしかったからだと思います。道具の管理から職員さんがやってくださっていました。ぜひ、この良い所をのこしてもらいたいです。

・ 有料公園になった時に、イベントがふえて、植栽管理やボランティアへの対応がうすくならないか心配しています。
・ 新しい生田ばら苑と歴史（生田ばら苑）との調和がとれた公園にして欲しいです。

・ 生田緑地ビジョンに沿って、新たな文化を創造するばら苑を創っていただきたい。
・ ただ綺麗なバラが咲いているばら苑にはしていただきたくありません。

・ 旧ばら苑にこだわらず、新しい発想でやっていけたらと思う。
・ 第１回目と第２回目でやり方や情報に進展がなく、どういう目的で今回しているのか不明である。
・ 結局、大手建築デベロッパーにまかせてしまうのではないか。

・ 生田緑地内におけるばら苑の位置づけは？
・ 将来の方向性が見えない。
・ 年中オープンするのであれば、基本的絵すがたを決める必要があると思います。

・ ばら苑の景色を作ってみようでパーツや背景にばら苑のものが入っていなかったのが気になりました。選んだもの全てに意図があるとは限らないと思いますので、どのように使われるのでしょうか？
・ ばら苑のバラを処分することについて、市民にオープンにして、説明する、話し合う場を作ってください。計画案についても、説明会をして欲しいです。
・ ワークショップであって意見交換ではないなと感じます。
・ ばら苑のことを心配して気にしている人が集まっているのに今のばら苑の情報とかも何もなくて残念。

・ こういう機会に皆さんのアイデアを出すのはよいが、廃棄されるバラ株の行方や入苑料の有無への考察やその経緯など結果だけを発表するのではなく、その利点やマイナス点など経緯も含めて公開してほしい。
・ 旧バラ株は廃棄ではなく市民や施設に配布してほしい。
・ 小田急との連携など駅から徒歩 20 分ほどのアクセスをどうするか早めに公開してほしい。
・ アーチ、パーゴラやオベリスクを多用し、水路も取り入れて色彩を統一させ、立体感のある美しいばら苑に生まれ変わらせてもらいたい。

・ 立体的なばら苑の修景のアイデアは、配置の組み合わせは、簡単なようでむずかしさを感じました。
・ 高低差のある立体的なばら苑で、バリアフリー、通年開放、飲食の設備の充実で、市民が楽しめるばら苑であってほしい。
・ ばら苑が閉苑して新しくリニューアルする事について、まだまだ知らない人が多いので、市はもっと市民に知らせて行くべきだと思いました。

・ ばら苑の再整備に関しての新しい情報がなく、スケジュールの見直し、ミュージアム、小田急の向ヶ丘遊園跡地の開発に関してもばら苑の隣接施設の情報も知りたい。
・ ばら苑へのアクセスに関して、課題があるのでばら苑の事以外の情報共有が必要と考えます。
・ 「第２回生田緑地ばら苑リニューアルに向けた意見交換会」の資料はとても良くまとめられていて、「非公開資料」がざんねんです。
・ 生田緑地ばら苑リニューアルに向けた意見交換会ニュースレター第１号は、参加者に共有されていますが、一般公開（川崎市 HP）や、検討委員会への報告などで、川崎市民への共有はないのでしょうか。
・ 今後のばら苑に期待することは、既存バラが咲きほこるばら苑を残しつつ、新しい品種を増やしていきたい。